

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和7年度分）

（宛先）岡崎市長

令和8年4月5日

団体名 手話サークル かやくごはん

代表者 坂本 国土

構成員 67人 （※令和8年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

手話技術の習得向上に努め、聴覚障害者と健聴者の交流を図ることを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現するための活動を、以下の項目に従って報告します。
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	公益※1を受けるのは 誰（何）か	受益者数		活 動 内 容	公益を受けるものに どのような効果があったか
			会員以外	会員※2		
1月31日	岡崎市西部 地域交流セ ンターやは ぎかん	市民（参加者）	29人	18人	板橋弥央講演会 『①生き立ち（台 湾人の母を持っ て）、②台湾のろう 社会について』	聴覚障害を持つ講師が 自分の生き立ち及び台 湾のろう社会について を手話でお話頂き、手話 通訳者が読み取り通訳 を行った。参加者は、聴 覚障害の社会等の内容 を理解しつつ、手話は言 語であることを学ぶこ とができた。

※1 **公益** 市に登録した分野での活動で、広く市民社会一般にもたらされる利益（公益が団体や、その構
 成員や会員に対してもたらされる活動は、公益活動には当たりません。）

※2 **会員** 構成員であるなしに関わらず、公益の提供者として会の活動に参加する人

☆記載欄が足りない場合は、別紙を添付する形でも構いません。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

聴覚障害者への理解促進及び手話が言語であるとの認識を取り入れ、聴覚障害者と健常者が触れ合
 う交流の場を通じて相互理解を深めることができた